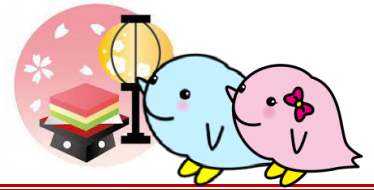




ふたば診療所通信



医療法人社団 支心 事務局 <http://www.shishinn.com>

〒085-0008 釧路市入江町9番14号

tel0154(23)3001 fax0154(64)6611

ブログ始めました。「お散歩ふわりくん」 ameblo.jp/fuwarikun

facebook随時更新しております

2017年2月15日 (第16号)

焼酎とへしこと棟梁(その1)

大工の棟梁をしていたNさん。弟子も育てて、元気な時は末広に出て、毎晩のように豪遊していたそうだ。母さん(奥さん)に言わせるとモテたのは財布の中身らしいけど..

10年以上まえから肺の病気を患った。だんだん身体がきかなくなって去年の春は病院で過ごした。病院ではもう家には帰れないと言われて施設に入る事になっていた。「チョットだけ家で我慢して下さい。」そう言われて一度家に帰った。歩けない...食べれない...トイレに行くのも母さんに支えて貰うご飯は1日1食がやっと...

数日が過ぎて施設に入れるめどが立った。Nさん:「行かない。」「ここが俺の家だあ。」(お母さんも体が弱いし、息子さんは道外だし、その体じゃ自宅は無理ですよ) Nさん:「旦那を捨てる嫁がどこにいるかあ」鼻に酸素の管をつけて、ハアハアしながらそう言った。結局、施設には入らず、自宅で過ごす事になった。

頑固でガンコでいつも母さんをしかりつけてばかり「お前はすっかり駄目になったな。」「そんな事もわからないのか。」「そんなことしたらダメだって言ってるべや!」母さんはいつも「ハイハイ」って言いながらため息をついている。...その目はいつも優しい。でも、Nさんが居ないところに来ると「あ~あ、やかましい。」「施設にでも行ってくれたら良いのに。」そう言って、笑ってる。

2ヶ月が過ぎると、晩酌が再開になった。焼酎のつまみは「鯖のへしこ」糠漬けの保存食で福井県の伝統料理だ。これを少しだけつまんで焼酎を飲む。これが晩ご飯。「これ旨いよ、焼酎がすすむんだ。」ニヤツと笑いながら教えてくれた。初めて会った時、「家に帰って酒を飲みたい。」と話していたNさんは満足そうだった。

ある日、母さんが腰を痛めて病院に行った。...なかなか帰って来ない。「あいつは俺ば捨てて逃げたな..あれが居ないなら、俺はどうやって暮らしていく?」「施設でも、病院でも入れてくれ。もうだめだ。一人ならどこにいても同じだ..。」そう悲嘆にくれているところに母さんが帰ってきた。

「何モタモタしてたんだ。さっさと用事済ませてとつと帰ってこないダメだべや!!」
..お母さんが帰って来て嬉しいのに、寂しい想いをさせられたと八つ当たりする子供みたいだった。(笑)
その2へ続く



バスケットボールの釧新杯の決勝戦!
釧路クラブのエースである小竹勇太生活相談員の応援に駆け付けて記念撮影です。



2017/2/15 谷藤 公紀

「へしこ」とは? :鯖を塩づけし、さらに糠漬けした若狭地方および丹後半島の伝統料理で越冬の保存食として重宝されているようです。お茶漬けや酒の肴として食べられているとのこと。

<スタッフ紹介>

今回は平成23年6月からふたば診療所の医療相談員として勤務している宮田貴大MSWが満を持しての登場！！
当院が創業間もない頃から先生と共に歩んで来たレジェンドです。



<宮田貴大医療相談員から>

先月、開設以来ホスピス・ケアふわりで最期を迎えられた方が100名を超えました。それでも初回相談などでは「こんなところがあるなんて知らなかった。」とよく言われます。訪問診療についても同様です。人に知って貰うって大変だなあと思いながら、日々相談対応をしています。まだまだ少ない選択肢の中で悩んでいる方がたくさんいます。身近にお困りの方がいた場合には是非お声がけ下さい。

息子さんの翔梧くんと一緒にふわりで過ごす宮田相談員。もうすっかりパパさんの姿もサマになっていますね！



医)支心 事業所のご紹介①

～各事業所の問い合わせは23-3001宮田か直接、各代表までお願いします。～

<ふわり訪問看護ステーション> 所長 保坂明美 0154-64-7350

経験豊富な看護師がご自宅へ伺います。食事、排泄、入浴などの療養上のお世話からカテーテルや在宅酸素などの管理、床ずれの予防～処置、リハビリまで多岐に渡るお手伝いをさせていただきます。癌末期や終末期の在宅生活を支えた多くの実績があります。

<日帰りふわりデイ・サービスセンター> 所長 小山いづみ 0154-31-2202

利用定員1日10名の少人数のデイサービスです。所長はベテラン看護師で臨床心理士の資格も持っています。ストレッチャーで寝たままの送迎も対応可能です。寝台浴や介護用ベッドの用意もありますので介護度の高い方、医療が必要な方に喜びの声を頂いています。経管栄養が必要な方もご相談下さい。

名優座の皆様が来て下さいました

釧路市内外精力的に活動を行っている「朗読グループ名優座」の皆様がホスピス・ケアふわりにボランティアにお越し下さり紙芝居や朗読、合唱などで大いに盛り上がりました。合唱曲の選曲が「まりもの唄」だったのですが、サズガですね！皆さん、好きな曲だし、知ってるしという事で、近年希に見る程の大合唱でした。団員の皆様の御着物姿も入居者様の目を楽しませてくれました。団員さんの中には元、学校の先生や看護師長さんも居て、当院のスタッフが恩師と予期せぬ再会を果たすなど皆が嬉しい気持ちになった一日でした。

名優座の皆様、本当にありがとうございました。
また、お会い出来る日を心待ちにしています。



<編集後記>

この季節のお約束。風邪が流行っているようですが、皆さまはお元気でいらっしゃいますか？

2月の今が踏ん張り時、これを越えると日も長くなり寒さも和らいますね。頑張りましょう！！

健康管理について、あるお医者様のコラムを読んだところ「感動体験」を持つことの大切さを書いていました。綺麗な花を見る映画を観る、動物に触れる、散歩に出て新鮮な空気を吸う。ささいな事の積み重ねが日々の健康状態に関わってくるんですね。自分がゴキゲンでいられること。大切にしたいものです。

